

# 伊万里市議会だより

第57号 4月  
平成28年(2016年)



## ▲竹の古場公園のつつじ(昨年5月)

平成28年度当初予算  
249億1,400万円  
(前年比+10.8%)

平成27年度 3月補正額  
3億958万6千円  
予算総額

252億2,445万5千円  
(前年比+1.3%)

春の訪れを感じる

## 平成28年伊万里市議会第1回定例会 会期日程

3月

3月1日～24日 24日間

日	種別	内容
1(火)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 41件・・・一括上程 市長提出議案等の提案理由説明 決議案の上程 決議案の提案理由説明、質疑 決議案の討論、採決
3(木)	本会議	議案等に対する質疑
4(金)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
7(月)	休会	特別委員会（防災・環境施設）
8(火)	休会	特別委員会（地方創生）
9(水)	本会議	一般市政に対する質問
10(木)	本会議	一般市政に対する質問
14(月)	本会議	一般市政に対する質問
15(火)	休会	常任委員会
16(水)	休会	常任委員会
18(金)	休会	常任委員会
23(水)	休会	正副委員長会
24(木)	本会議	市長提出追加議案 1件・・・上程 市長提出追加議案の提案理由説明、質疑 議会議案 1件・・・上程 議会議案の提案理由説明、質疑 常任委員会報告、質疑 特別委員会報告、質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

## 議会ホットコーナー

### 議員定数 24⇒21へ

一昨年からの懸案であった定数削減は、議会運営委員会による13地区での意見交換会を経て3名減が決まり、今議会で条例を改正しました（賛成多数）。次の一般選挙から適用されます。

引き続き、議会改革を進めて参ります。

### 男女協働参画を推進する条例 修正可決！

伊万里市男女協働参画懇話会（伊万里プラザ）からの提言を受け、「性別に違和感がある人などへの配慮」や「防災分野での取組」などの規定がある先進的な内容になっています。

これに意思決定機関としての「議会の責務」を加筆し修正しました。

これらにより、県内の市では佐賀市、嬉野市に続いて3番目の制定ですが、最先端の内容となりました。



議会ホットコーナー・定例会会期日程など

## 決議

独立行政法人地域医療機能推進機構（ＪＣＨＯ）伊万里松浦病院の伊万里市内存続と地域医療の充実を求める決議

伊万里松浦病院の建て替えにおいて市に対して以下の4項目を求める。

1、ＪＣＨＯに対し、伊万里市内での存続と早期建て替えを求めること

2、病院移転となった場合、ＪＣＨＯに対し、早急に現地にサテライト機能

（診療所）の設置を要請すること

3、地域医療の確保・充実に取り組み、既存の医療機関相互の医療連携を推進すること

4、佐賀県西部地区医療圏内の2つの公的病院（伊万里有田共立病院、伊万里松浦病院）による医療ネットワークの構築により、診療科目や専門医師の重点配置を図り、急性期医療、高度・専門医療など、地域医療に不足している医療機能の向上を図ること

採決結果 可決（賛成多数）

### 次の人事案件に

同意しました

○伊万里市公平委員会委員

大原 巖氏（立花町）再任

○人権擁護委員

福園理恵子氏（新天町）新任

# 平成28年度予算の概要

本市において法人住民税の一部国税化に伴う税率の引き下げや、固定資産税の評価替えの影響等もあり、市税収入が減少傾向にある中、社会保障関連経費や公債費などの義務的経理、老朽化した公共施設等の改築や修理費が必要となるなど経済情勢は決して予断を許さない状態です。

よって既存事業の大幅な見直しをし、戦略的視点に立った特定事業への集中投資、さらにはふるさと応援基金の活用などにより子育て支援や産業振興など伊万里市の未来を見据えた予算編成になっています。

	予算額 (千円)	主 な 内 容
<b>歳入総額</b>	<b>24,914,000</b>	市税、国・県からの交付金・補助金、利用者負担金など
(市税)	(6,511,430)	(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など)
<b>歳出総額</b>	<b>24,914,000</b>	(職員の人件費は、各々の事業の中に計上されています。)
議会費	270,729	議会運営、議員報酬、政務活動費、視察・議会だよりの経費
総務費	3,806,036	市役所の運営、地域交通、伊万里湾開発、広報
民生費	9,944,264	老人・障がい者・児童(保育所、留守家庭児童クラブ)の福祉
衛生費	1,752,919	環境センター、各種健診、休日夜間救急センター
労働費	71,434	労働者福祉
農林水産業費	1,028,749	農林水産業への支援、有害鳥獣対策、農村環境の保全
商工費	500,035	商工業への支援、観光振興
土木費	1,759,569	市道・市営住宅・都市公園・下水道の維持管理
消防費	1,681,261	消防団の運営支援、(消防救急体制の維持)
教育費	1,691,836	学校運営、学校給食センター、公民館、図書館、文化・スポーツ施設
災害復旧費	18,500	災害復旧のための経費
公債費	2,259,497	これまでの借金の返済
その他	129,171	予備費など

※この他に、国民健康保険、介護保険、公共下水道などは特別会計で、水道、工業用水道は企業会計で事業が実施されます。

※予算に過不足が生じた場合や新たに事業が行われる場合には、原則として6月、9月、12月、3月議会で補正予算が組まれます。

※詳しい伊万里市の予算書は市役所 1 階市民サービスコーナーと市民図書館で閲覧できます。

## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

当委員会に付託されました条例議案9件、一般議案2件、新年度予算議案及び平成27年度補正予算議案について審議の結果、条例議案1件について一部修正し、その他は原案通り可決・承認すべきものと決定いたしました。主な内容は次の通りです。

### 【条例議案】

- ◆議案甲第1号 伊万里市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例制定について
- ◆議案甲第2号 伊万里市男女協働参画を推進する条例制定について

この条例は、男女協働参画の推進に関し、基本理念を定め、市及び市民の責務を明らかにするとともに、基本的施策等を定めることにより、総合的かつ計画的に推進し、もって男女協働参画社会の実現に寄与することを目的とする。

第5条に「議会の責務」を追加した修正案を提出しました。

- ◆議案甲第5号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
- ◆議案甲第10号 伊万里市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

### 【一般議案】

- ◆議案甲第20号 行政不服審査会の事務の委託に関する規約の協議について

### 【新年度予算議案】

- ◆議案乙第1号 平成28年度伊万里市一般会計予算
- 防犯灯設置促進事業 ……120万円  
地域の安全対策として、防犯灯設置費用の一部を補助します。
- ふるさと応援寄附募集事業  
……………6億907万2千円  
「ふるさと応援寄附金」を10億円程度見込み、寄附者に対する返礼品等の費用とするほか、寄附の増加を図ります。
- 移住・定住促進事業 ……29万5千円  
本市への移住・定住を促進するため、定住奨励金の創設や地域おこし協力隊の活動など調査研究を行います。

- 国際戦略推進事業 ……637万9千円  
外国人観光客の伊万里市への誘客を図り、地域経済の活性化に繋げるため、各種事業を実施します。(誘客拡大事業、消費拡大事業、多言語化事業)
- 市税等賦課徴収事業(口座振替推進ダブルキャンペーン事業) ……73万8千円  
市税の収納率向上及び郵便料金の節減、収納事務の効率化を図るため、口座振替推進キャンペーンに取り組みます。
- 消防団運営事業(防火衣更新等)  
……………544万7千円  
防火衣・防火帽を耐久性の良い物へ更新し、さらに救命胴衣を新規配備し、消防団活動の充実・強化を図ります。計画どおり3年間で更新できるよう求めました。
- 防災行政無線施設整備事業  
……………7億4,469万1千円  
市民の生命、財産を災害から守るため、市民に対して一斉に災害情報を伝達することができる防災行政無線を整備します。今後の費用削減を図るため、ランニングコストを考慮した入札を検討されるよう求めました。

### 【補正予算】

- ◆議案乙第11号 平成27年度伊万里市一般会計補正予算(第10号)
- バス交通支援事業(路線バス運行費補助金)  
……………6,849万1千円  
住民の交通手段を確保するため、不採算バス路線の運行経費に対し補助します。

### 【委員会による主な意見】

- 時間外勤務手当が増加していることから、時間外勤務の縮減に努め、組織の体制整備や業務方法の見直しを検討されたい。
- 日々雇用職員等の確保が難しい職種があり、通勤手当等の待遇改善を検討されたい。
- 事業によっては毎年の補正予算額が数千円にのぼるものがあり、年間を通した見込み額を当初予算に計上するよう検討されたい。
- 各所審議会等の委員選任に関し、女性委員の拡大及び市職員の委員就任の在り方を検討されたい。

○松尾 雅宏 ○力武 勝範  
盛 泰子 中山 光義 前田 敏彦  
馬場 繁 副島 明 渡邊 英洋

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託されました条例議案5件、一般議案1件、予算議案8件について審査の結果、28年度一般会計予算議案が賛成多数、その外の議案が全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

その主な内容は下記のとおりです。

●議案甲第13号 伊万里市特別支援学校留守家庭児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について

特別支援学校留守家庭児童クラブの利用料の納期を「20日」から「末日」に変更するもの。

●議案甲第14号 伊万里市子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

平成28年7月診療分から新たに、小中学生の通院医療費（保険診療分）を助成の対象に拡大するもの。

●議案甲第17号 伊万里市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

波多津小学校と波多津東小学校を統合することにより条例の一部を改正するもの。

●議案乙第1号 平成28年度伊万里市一般会計予算について

民生費

○民生・児童委員活動事業 …2,238万8千円
月額活動委託料を増額することにより、市民に身近な民生委員・児童委員の活動を支援するもの。

【質問】配置人員の基準について

【回答】県の条例によって決まっており、現在162名が活動している。

○手話通訳者・要約筆記者派遣養成事業 ……306万8千円

障害者総合支援法に基づき、手話を必要とする聴覚障害者等にきめ細やかな対応が常時出来るよう、庁内に手話通訳専門員を配置するもの。聴覚障害者等の円滑なコミュニケーションを構築し、積極的な社会参加を促進するために、手話通訳者や要約筆記者の派遣を行う。

○障害児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業 ……2,039万円

障害のある幼児とその保護者に対して、日常生活等に適応するために指導や訓練を行う、こどもハートフルセンターひまわり園への運営費委託料。

○同和研修参加促進・地区活動支援事業 ……847万5千円

市内2団体の活動費に補助をするもの。他の補助団体と比べて補助が常態化しており、補助金の見直しを求める意見があった。

○留守家庭児童クラブ管理運営事業 ……7,874万7千円

余裕教室利用による施設の拡充と支援員確保による体制の整備により小学4年生以上児童の受入拡大の早期実施を求めた。

衛生費

○子育て世代包括支援センター事業 ……429万5千円

妊娠・出産・就学前の子育て期における保健相談窓口を保健センターに新たに新設するもの。保健センターの業務は多岐にわたっており、事務所内も狭いため、相談者に配慮した相談スペースの確保と支援体制の充実を求めた。

○予防接種事業 ……1億5,969万7千円
感染症の発生を未然に防止するため、保険適用外の予防接種に要する経費の一部補助を行うもの。

○広域ごみ処理施設建設に係る地域振興事業 ……1億3,717万2千円

佐賀県西部広域環境組合と松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会との間で締結された地域振興策協定に基づき実施するスポーツレクリエーション施設建設に伴い、今年度は建設予定地の立木補償調査及び用地購入を行うもの。

教育費

○小学校統合事業 ……229万8千円
波多津小学校と波多津東小学校の統合により、校歌作曲等委託や校章等備品を購入するもの。校歌の作詞については公募となっている。

○体育施設耐震改修事業 ……1,248万1千円
市内体育施設の耐震改修を施す事業で、本年度は国見台武道館を改修するもの。工事期間は平成28年11月から平成29年2月までの予定。

その他

○ピロリ菌検査の実施について

【質問】中学3年生を対象として今年度から佐賀県が取り組む『未来に向けた胃がん対策推進事業』への伊万里市の対応について

【回答】県からの依頼を受けて、現在各学校の検査の意向を調査中である。

○梶山 太 ○東 真生
岩崎 義弥 前田 邦幸 弘川 貴紀
船津 賢次 前田 久年 樋渡 雅純

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました議案は、条例改正4件、平成28年度一般会計及び特別会計予算7件、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算5件で審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。主な審査内容は以下のとおりです。

## 【条例議案】

- 伊万里市産業の振興を促進するための固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例制定について  
本市条例中の固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する規定を整理するもの。
- 伊万里市工場等の設置奨励に関する条例の一部を改正する条例制定について  
奨励措置を柔軟に講じ、企業誘致を積極的に推進するもの。

## 〔予算議案〕

## 平成28年度一般会計予算(主なものを記載)

## ・労働費

伊万里の“いい職”説明会開催事業 …64万円

## ・農林水産業費

中山間地域農業集落活動支援事業  
……………1億6,006万2千円  
新規就農給付金支援事業 …2,862万3千円  
農業経営安定等支援事業 …2,922万5千円  
有害鳥獣対策支援事業 ……1,040万円  
園芸農業機械・施設等整備支援事業  
……………8,401万4千円  
農地・水保全管理支援事業  
……………1億2,510万4千円

## ・商工費

工場等設置奨励事業 ……8,213万4千円  
中小企業振興資金貸付事業  
……………2億3,573万7千円  
創業支援事業 ……220万円  
観光PR事業 ……300万9千円  
伊万里ブランド販売促進事業 …777万9千円  
観光振興団体支援事業 ……1,000万円

## ・土木費

道路管理事業(単独) ……9,712万円  
市道改良事業(単独) ……1,150万円  
交通安全施設整備事業(社会資本整備総合交付金) ……8,112万円  
浸水対策事業 ……1億512万円

## 平成28年度特別会計予算

- 立花台地開発事業 ……1,579万8千円
- 公共下水道事業 ……21億2,748万2千円
- 農業集落排水事業 ……1億3,618万5千円
- 市営駐車場 ……1,296万7千円

## 平成28年度企業会計予算

## 水道事業

- 収益的収入及び支出 …14億9,269万6千円

## 工業用水道事業

- 収益的収入及び支出 ……12億6,168万円

## 平成27年度一般会計補正予算

## 農林水産業費

- 施設園芸等被害対策事業 …2,191万7千円
- ため池整備促進事業(ため池詳細点検業務委託) ……1,754万7千円

## 平成27年度特別会計補正予算

- 公共下水道事業 ……△105万5千円

## 平成27年度企業会計補正予算

## 水道事業

- 資本的支出 ……△9,589万7千円

以上、諸議案審査についての主な意見は以下のとおりです。

- 創業支援事業について、創業希望者の実情に合わせて、補助金を受ける要件の緩和などの柔軟な対応を求める。
- 大川内山藩窯公園の災害復旧工事後、散策道路が途切れたままになっていることから、復旧の予算立てについて関係部署での再度の協議を検討されたい。
- 市営駐車場の看板について、設置箇所の見直し等検討されたい。
- 伊万里津景観形成事業において、地域等の意見を踏まえた事業の推進を求める。

## 現地視察

伊万里津景観形成事業  
(伊万里川河畔)まちなか活性化団体支援事業  
(伊万里まちなか一番館)

◎香月 孝夫 ○井手 勲  
 多久島 繁 坂本 繁憲 山口 恭寿  
 松永 孝三 草野 讓 笠原 義久

## 地方創生調査特別委員会報告

## 1. 地方創生の取り組みについて

## (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略

まち・ひと・しごと創生総合戦略推進部会が各分野ごとに開催され、平成27年度中のアクションプラン（案）作成に向けて協議が進められている。アクションプラン（案）は4月に開催予定の本部会議で決定され、決定後も推進委員会や各部会で進捗管理やローリングが行われる。

## (2) 地方創生に関する交付金

## ① 地方創生加速化交付金

先駆性、自立性があり、官民協働、地域間連携、政策間連携を満たす事業に対し交付される。伊万里市からは「古伊万里の里ブラッシュアップ事業」及び「都市と地方を結ぶ次世代人材育成によるクラウド型企業誘致事業」が申請されている。

## ② 地方創生推進交付金

現時点で交付申請から決定までのスケジュールは不明だが、申請に当たり、市で地域再生計画を策定し国の認定を受ける必要がある。

## 2. 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路南波多谷口ICから伊万里東IC（仮称）間は平成29年度の開通に向けて調査、工事が推進されている。

## 3. 港湾整備について

平成27年度で航路泊地の浚渫工事が完

了し、平成28年度の事業内容は臨港道路の橋りょう工事等が予定されている。平成27年のコンテナ取扱量は30,516TEUとなり、輸出が過去最高の6,731TEUとなった。内容としてロール紙の輸出が博多港よりシフトし、その取扱量が3,532TEUとなっている。

## 4. 企業誘致について

## (1) 企業誘致活動について

平成27年度の企業訪問・来訪による立地勧奨は60社に対し延べ139回、立地企業へのフォローアップは53社に対し延べ132回行われている。平成27年度は、製造業やソフトウェア開発・サービス業など4社が新規に立地、進出している。

## (2) 工業団地の現状について

工業団地の現状として、七ツ島工業団地は立地率が98.8%、残面積が約1.5ヘクタールとなっており、製造業などの新たな誘致が難しい状況となっている。このよう中、さが創生市町工業団地整備推進事業を活用し松浦地区に新たな工業団地を造成する方向で準備を進めている。

◎渡邊 英洋 ○弘川 貴紀  
力武 勝範 前田 敏彦 井手 勲  
梶山 太 笠原 義久

## 防災・環境施設対策調査特別委員会報告

## 1. 伊万里市の防災行政について

## (1) 原子力安全協定等の締結について

本年2月2日に、市と九州電力との間で「伊万里市民の安全確保に関する協定書」、市と県との間で「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と伊万里市の覚書」の締結式が行われた。県との覚書により、県と九州電力との安全協定の運用時に県は市の意向に十分配慮すること等を確認する内容となっている。

また、万が一の原子力災害に備えた安定ヨウ素剤の配布方法については今後検討していくとのことであった。

## (2) 防災行政無線の整備について

災害時の情報伝達を目的として市全域に整備する防災行政無線の実施計画が2月に完了。見直しにより、整備総額は基本設計から1億5,800万円減額し9億7,200万円となっている。平成28年度に7億3,900万円をかけて、基幹施設や戸別受信機及び玄海原発に近い北部地域と山間地が多い周辺部を優先して屋外拡声子局を整備し、残りを平成29年度から2年間で整備する計画となっ

ている。

また、災害時の情報伝達をより迅速・確実に行うため、伝達体制の強化及び県の防災ネットあんあんメールへの登録促進など、伝達手段の多様化を図るよう求めた。

## 2. 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設整備について

## (1) 平成28年第1回定例会について

2月23日の第1回定例会では上程された議案3件が全て全会一致で可決。そのうち平成28年度当初予算には、包括的運転業務委託外6件の委託料に7億734万4千円、地域振興策事業に係る交付金1億5千万円が計上され、歳入歳出総額は11億4,486万円。

## (2) さが西部クリーンセンターの稼働状況

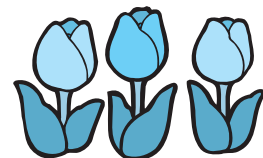
1月のごみの受入実績では、伊万里市は全体の23.52%と人口比率に近い割合となった。1月の寒波による断水により3日間の運転停止となったものの、現在まで大きな問題はなく稼働しているとの報告を受けた。

◎前田 久年 ○坂本 繁憲  
岩崎 義弥 前田 邦幸 東 真生  
船津 賢次 樋渡 雅純

# 一 般 質 問 (質問順)

## 一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
松尾 雅宏 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 松島捌開発と伊万里保育園の移設について</li> <li>2. 有害鳥獣捕獲報償金について</li> <li>3. 経営所得安定対策（法人化）・水田フル活用と米対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）への市の考え方と対応</li> <li>(2)水田活用の直接支払交付金（戦略作物助成）への市の考え方</li> </ol> </li> </ol>	船津 賢次 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伊万里松浦病院の移転、改築問題について</li> <li>2. 路線バスの廃止等による中学生、高校生の通学について</li> </ol>
副島 明 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成28年度当初予算編成について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ふるさと応援基金繰入充当事業について</li> <li>(2)継続的事業と単年度完了事業への繰入金充当について</li> <li>(3)今後の考え方</li> </ol> </li> <li>2. 市民の健康管理について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)国保加入者の健康診断の状況</li> <li>(2)市役所職員の健康診断の状況</li> <li>(3)伊万里松浦病院がおこなっている健康診断についての考え</li> </ol> </li> <li>3. 伊万里松浦病院の伊万里市内存続を求める決議について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)決議の重みと市の受け止め方</li> <li>(2)市長の対応と考え</li> </ol> </li> </ol>	山口 恭寿 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの医療費助成について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)小中学生の通院補助の概要</li> <li>(2)今後の展望</li> </ol> </li> <li>2. 都市計画道路の整備状況について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)都市計画道路の進捗状況</li> <li>(2)都市計画道路の変更または中止について</li> </ol> </li> <li>3. 伊万里中学校の改築計画について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)改築計画の状況</li> <li>(2)市内小中学校の耐震性について</li> <li>(3)今後の展望</li> </ol> </li> </ol>
馬場 繁 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水道事業について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)未普及地域解消に向けた取組み</li> </ol> </li> <li>2. 下水道事業について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)汚水処理総合計画改定の基本方針</li> <li>(2)公営企業会計への移行</li> <li>(3)上・下水道事業の組織統合</li> </ol> </li> </ol>	坂本 繁憲 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家読について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)9年間の総括</li> <li>(2)各町の取り組みと特色</li> <li>(3)小中学校の家読の取り組み</li> <li>(4)第5次伊万里市総合計画実施計画における事業について</li> <li>(5)今後の取り組みについて</li> </ol> </li> <li>2. 公立保育園、留守家庭児童クラブについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)公立保育園の改築、改修の方針について</li> <li>(2)公立保育園の建設年度と耐用年数</li> <li>(3)大坪保育園の改築計画について</li> <li>(4)留守家庭児童クラブの受入拡大の計画について</li> <li>(5)留守家庭児童クラブの時間延長について</li> </ol> </li> </ol>
岩崎 義弥 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院移転問題における市長記者会見について</li> <li>2. 伊万里ハーフマラソンについて</li> </ol>	渡邊 英洋 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道路網整備について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)女山トンネルの進捗状況</li> <li>(2)若木バイパスについて</li> <li>(3)大坪～木須線（630m）について</li> <li>(4)臨港道路セツ島線について</li> <li>(5)国道204号バイパスについて</li> <li>(6)県道297号塩屋～大曲線について</li> </ol> </li> </ol>
前田 邦幸 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. さが西部クリーンセンターについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)現在までの状況について</li> <li>(2)維持管理契約について</li> </ol> </li> <li>2. ふるさと応援寄附金について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)2月未までの寄附金の状況について</li> <li>(2)ふるさと応援寄附金の使い分けについて</li> </ol> </li> <li>3. 市営住宅の現状と対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)市内の状況について</li> <li>(2)老朽した市営住宅について</li> </ol> </li> </ol>		





一般質問

松島搦開発と伊万里保育園の移設について

松尾 雅宏

**質問** 現在整備が進められている馬伏浸水対策事業と大坪・木須線の進捗を尋ねる。

**答弁 建設部長**

馬伏浸水対策事業は平成21～34年の期間で整備していますが、本年度までにポンプ場と下流域の雨水幹線は終了し本年4月から供用します。

又、大坪・木須線についてもポンプ場と雨水幹線の完成により28年度は盛土工事が行われ29年度には開通します。

**質問** 浸水対策事業と大坪・木須線の完成に伴い商業施設の計画が本年より始まり、平成30年には順次姿を現します。つまり、保育園も移設するのであれば本年からの



計画に乗せなければ敷地が確保出来ません。

その開発区域の東側には伊万里小学校・啓成中学校もありますし、そこに伊万里保育園用地を確保し移設する考えはないか尋ねる。

**答弁 市民部長**

市内公立保育園はいずれも築40年ほど経過しており大規模改修や移設の必要性があると考えています。お尋ねの伊万里保育園は築39年となり老朽化と送迎スペースを含めた道路事情も課題です。

又、提案の候補地についても現在の保育園と遠くはなく、道路の完成も間近であり、適地とは考えますが、財政事情もあり早急な検討を要します。

**答弁 市長**

松島の浸水対策と大坪・木須線については、やっと解決を見ますが、この完成により九州イオンからも出店打診が昨年ありました。

この地区は伊万里市北部に残された最後の開発地区であり、伊万里市民にとっても必要な開発と考えており、市としても4月より新たに松島搦まちづくり推進係を新設し、地元及び開発業者と共に諸問題の解決とまちづくりに関わって参ります。又、議員提案の伊万里保育園移設についても、この開発との連携をとり早急に検討を行います。

平成28年度当初予算編成について

副島 明

**質問** ふるさと応援基金繰入充当事業の考え方。

**答弁 政策経営部長**

今までに要望が多くあってもなかなか実現できなかった事業に予算配分ができた。継続的事业には一般財源をあてるべきという議論は当然あると思う。

**質問** 地域の元気推進事業や甲子園プロジェクト推進事業など継続的事业のなかに、ふるさと応援基金を繰り入れても減額予算となっている事業がある。



**答弁 政策経営部長**  
事業の見直しによって予算を計上している。

市民の健康管理について

**質問** 伊万里松浦病院がおこなっている健康診断は、伊万里有田地区で事業所数875の事業所、人数で1万8277人の健康診断をされ、その75%以上が検診車で事業所に向いての健診である。この貢献をどのように考えているか。

**答弁 市長**

大きな貢献であると思う、もし県外移転になれば、誰がどのように補うのか心配される。

伊万里松浦病院の市内存続を求める決議について

**質問** 受け止めと対応。

**答弁 市長**

市民病院跡地への移転は、地元医師会の強い反対がある。今後、医師会との協議をする考えはありません。現地での建て替えを伊万里市として要望します。



一般質問

水道事業について

馬場 繁

**質問** 普及率及び未普及地域の把握と解消の取組み状況は。

**答弁** 水道部長

普及率は平成27年3月末で市営と民営合わせて98%である。未普及地域は9箇所、現在2箇所から整備要望があつている。この内の黒川町花房地区は平成28年度から整備を予定。他の一つは解決すべき問題を関係者に説明をしている状況である。

下水道事業について

(1) 汚水処理総合計画改定の基本方針

**質問** ①改定に当たつての基本的な考え。見直した内容。②浄化槽に係る補修費の一部助成制度の創設ができないか。

**答弁** 建設部長

①将来人口の減少など社会環境の変化を想定し整備の効率性に重点を置いた。見直した内容は公共下水道で瀬戸・黒川地区及び山代処理区を除外。また今後整備計画の農業・漁業集落排水区域を除外。

この除外区域は浄化槽整備とした。②補修費助成は国への要望等今後の検討課題にしたい。

(2) 公営企業会計への移行

**質問** 下水道区域の範囲確定により下水道事業は公営企業会計へ移行すべきと考えるが。

**答弁** 建設部長

この移行については平成27年1月に総務省から公営企業会計適用に重点的に取組むよう要請がなされており、移行に向け資産等資料の収集整理を平成29年度の完了を目標に取り組んでいる。

(3) 上・下水道事業の組織統合

**質問** 水道と下水道は一体的な事業であり業務の効率化や収納事務の円滑性等の効果がある。組織統合する考えは。

**答弁** 政策経営部長

下水道事業の地方公営企業法適用に向けた協議の中で組織統合の検討も行なっており統合については昨年5月に「下水道事業法適化移行二役協議」において企業会計移行時に水道部との統合の意思決定がなされている。今後課題等を整理し、進めて行きたい。



病院移転問題における市長記者会見について

岩崎 義弥

**質問** 市長記者会見の動画をなぜカット編集したのか、また誰の指示か。今までもあつたのか。

**答弁** 総務部長

病院移転問題の状況が変化する中、動画をそのまま掲載すれば関係者に誤解や混乱を与える。市の不利益回避のため、最終的に市長が判断した。カットしたのは今年の2月と3月のみ。

**質問** 今後の市長の考えは。

**答弁** 市長

市長記者会見も動画配信ともに任意であり、配信は佐賀県で伊万里市のみ。予定にない質問がなされ、その答弁を反省することもある。今後は内容によつて判断するが、市側の予定した発表だけするのか休止するのか検討する必要がある。

**質問** 動画配信は大変良い取り組みなので続けていた、きたい。

会見は公の場、どのように公開されても良いように発言は慎重にお願いしたい。



市の不利益になる内容などは、「今は協議交渉中で話せない」で通していただいて良いのではないかと。多くの市民から署名が集まり、議会も応援の決議をしている。

市民の願いは市長を中心に伊万里松浦病院をなんとか市内に残したいと一枚岩となり、その姿勢を示すことだと思ふが市長の考えは。

**答弁** 市長

私も市内存続を願っている。これまで伊万里松浦病院で実施してきた健康診断の問題もある。今月中にも市民の署名と決議を持って東京のJCHOに直接出向き、市民の想いを背負つて申し入れをしていきたい。

一般質問

さが西部クリーンセンターについて

前田 邦幸

質問 現在までの状況。

答弁 市民部長

本年1月4日から供用開始され、1日あたり約119件、171トンのごみを持ち込まれた、伊万里市内からの搬入は944件・1004トンとなり、全体の約23・5%を占めている。

質問 維持管理について。

答弁 市民部長

包括委託契約は、固定経費と燃料・薬品費といったごみの処理量によって変更が生じる変動費の合計でなりたっている。

質問 発電余剰電気、スラグ、メタルの収入はどこに入る。

答弁 市民部長

売電・売却収入は環境組合に入るとされているので、複数社見積書を取り、最も高値を提示した業者に売却する。



ふるさと応援寄附金について

質問 2月までに寄附の状況と新年度予算案について。

答弁 政策経営部長

2月末までに9億6520万6109円集った。市として使えるのは4割だ、28年度の予算案の中に総額2億1540万円繰入をした主なもの。観光戦略(1000万円)、まちづくり事業(600万円)、まちなか活性化事業(800万円)、伊万里津景観形成事業(3300万円)、伊万里ブランド販売促進事業(610万円)、子ども医療費助成事業(3260万円)7月診療分から新たに中学3年生までの通院治療費も助成対象となる。

質問 今後の使い分け。

答弁 市長

今まで出来なかった地域の整備や歴史、文化を活かしたふるさとづくり・まちおこしに積極的に使いたい。

市営住宅の対策について

質問 老朽化した市営住宅は。

答弁 建設部長

楠久第2、久原市営は平成29年に計画見直しになっているのでその時に方向性を決める。

伊万里松浦病院の移転、改築問題について

船津 賢次

質問 昨日、現在地での建て替えをJCHOに求めるという市長答弁があった。私は、今回の質問で、そのことを質問しようと思っていた。それがスジだからだ。現在地での建て替えなら医師会とも対立せず、伊万里市一丸となった運動ができた。なぜ、「赤字になるから現在地では建て替えてできない」というJCHOの言い分を絶対視してしまったのか。JCHOは機法第三条で「地域において必要とされる医療を提供する」ことを



設立の目的としている非常に公共性の強い組織だ。採算性だけで移転を合理化することはできないし、採算性についてもJCHOの努力も求められるではないか。

答弁 市長

絶対視はしていない。機構の理念から見て疑問には思っていた。

質問 旧市民病院跡地の譲渡をという話があった時、そのことを地元や医師会、議会に報告し、相談すべきだったのではないか。

答弁 市長

当事者ではないので説明に限界があった。

質問 医師会の反対決議は地域医療という点からみて非常に大事なことが提起されていると思う。市長はこの医師会の反対決議をどう受け止められたのか。

答弁 市長

一部、自分の考えもあるが、市内での存続を考えた。

質問 市長は昨日、現在地での建て替えを求めると答弁された。その立場で、市民一丸となった運動を展開していくべきだ。

答弁 略

(路線バスの廃止等による中学生、高校生のバス通学の問題については省略)

一般質問

子どもの医療費助成制度について

山口 恭寿

**質問** 議員になった当初から訴えていた小中学生の通院助成が始まるが、償還払い（病院窓口で支払った額を市役所で返還する方法）を現物給付（病院窓口で5000円だけ支払う方法）に出来ないか。

**答弁** 市民部長

市単独では難しいため、県に働きかけて行く。

都市計画道路の整備について

**質問** 八谷搦駅前線、六仙寺立花線、新天町江湖ノ辻線の3路線が長期に渡り計画から未整備になっている理由は。

**答弁** 建設部長

優先順位が低い道路としているため。

**質問** その3路線は40年以上も前に都市計画決定がなされたものであり、現在の環境や状況に合わせてため、計画の中止や変更を行うべきではないか。

**答弁** 建設部長

地域住民の方とも協議をし検討

して行く。

伊万里中学校の改築問題

**質問** 市内小中学校で、耐震性に問題のある学校はどこか。

**答弁** 教育部長

伊万里中学校 東山代小学校。

**質問** 平成26年9月議会の私の一般質問で伊万里中学校の改築については平成27年度に基本計画に取り組み、答弁を頂いているが、全く手をつけられていないのはなぜか。

**答弁** 教育部長

予算的な問題。

**質問** 伊万里中学校は耐震性に問題がありとわかつている状態で計画すら立ててないのは問題がある。平成30年度で南波多小中学校の整備事業終わる予定なので、計画くらいすぐに立ててもいいのではないか。

**答弁** 市長

二里小学校の改築のノウハウを使い、平成28年度に学校関係者、地域の方々を含め基本計画に取り組んで行く。



家読について

坂本 繁憲

**質問** 9年間の総括について。

**答弁** 教育部長

平成19年6月に黒川町をモデル地区に指定し、家庭、学校、地域が連携した家読の取組みがスタートし、21年には「第1回家読サミット」を伊万里市で開催、25年には「佐賀家読ネットワーク」を立ち上げた。

**質問** 各町の家読事業の予算化について。

**答弁** 教育部長

「ふるさと応援寄附金」を活用して、地区の活動を支援すること、その一つとして良い方法だと思えますので、今後、政策経営部とも協議を行ないたい。

**質問** 今後の取組みについて。

**答弁** 市長

各町の公民館同士の連携を活かし、いい事例を広めていくことも有効ですし、「子ども司書」の取組みを今まで以上に充実させる必要があり、「安心して、子どもを産み育てやすいまち」の実現に向けてさらなる推進に力を注ぎたい。

公立保育園について

**質問** 公立保育園の改築、改修について。

**答弁** 市民部長

園児の安心・安全を第一に、毎月老朽箇所や危険箇所の点検を行なうなど、園舎の適正な維持管理に努め、随時必要な工事修繕を行なうという考え方を基本に維持管理に取り組んでいるが、6園全てにおいて計画的な改修等を検討する時期に来ている。

**質問** 大坪小学校線の道路整備に伴い、その道路からの乗り入れを踏まえた改築計画はされないのか。

**答弁** 市民部長

大坪保育園は公立保育園の中で最も改築の必要性が高いと考えられ、移設を含めて検討を行なう必要があると考えている。

**答弁** 市長

副市長を軸として、改築に向けた検討委員会を設置する。



一般質問など

道路網整備について



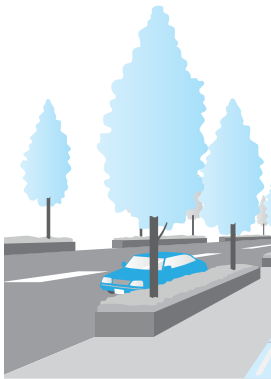
渡邊 英洋

**質問** ①女山トンネルの進捗状況について、②大坪く木須線（630m）について、③臨港道路七ツ島線について、④国道204号線バイパスについて、⑤県道297号塩屋く大曲線について。

**答弁** 市長、政策経営部長、建設部長

①貫通式も終了し、順調な進捗状況にある。尚、供用開始は平成29年度と予定されている。

②都市計画道路として県主体で取り組まれており平成29年度完成を予定し、現在の進捗率は60%である。  
 ③国の直轄事業として平成21年から始まって平成30年代前半の完成を目指している。航路泊地の浚渫事業も本年度で完了し、今後は本事業が重点的に行われるものと期待している。現在の進捗率は30%である。  
 ④都市計画変更が平成26年9月に決定した。その後、地元説明会等を開催し、地形測量が完了した。今後は臨港道路とタッチする地点を優先に着手し、詳細設計や用地買収を行いたい。  
 ⑤特に旧黒川中学校前のカーブについては、昨年2月に西九州道の開通で交通量が増加し改修の必要性は認識している。しかし県としては整備済との認識であるが、今回の交通事故を踏まえて、再発防止、安全確保の面から、市としても何らかの手は打って行きたいと考えている。又、地元黒川町開発促進協議会、伊万里市北部地区振興協議会と一緒に頑張って県の方に強く要望して行きたい。



全国各地からの「ふるさと応援寄付」が 市政を豊かに!!

(平成28年度当初予算 単位：千円)

事業名	事業費	充当額	事業名	事業費	充当額
甲子園プロジェクト推進事業	652	600	いまり秋祭り開催支援事業	3,508	3,500
大連市友好交流促進事業	3,246	3,200	畑の中のレストラン開催支援事業	1,089	1,000
国際戦略推進事業	6,379	6,300	伊万里津景観形成事業	33,243	33,000
21世紀市民ゆめづくり計画支援事業	1,862	1,700	国見台公園トリムコース舗装工事等	7,500	7,500
市民活動支援センター管理運営事業	1,412	1,100	消防団運営事業（救命胴衣、防火帽）	2,147	1,800
食を活かしたまちづくり推進事業	639	600	小・中学校各種大会出場費等支援事業	940	900
地域の元気推進事業	4,155	4,100	きらきら伊万里っ子育成事業	962	900
市民センター改修事業	2,368	2,000	小学校管理事業（体育館改修工事等）	26,000	26,000
市民会館改修事業	7,000	7,000	小・中学校パソコン管理事業	6,778	6,700
伊万里港コンテナ貨物助成事業負担金	6,000	6,000	カプトガニ保護促進事業	1,816	1,500
子どもの医療費助成事業	32,613	32,600	史跡大川内鍋島窯跡学術調査事業	3,103	1,500
幼児インフルエンザ予防接種助成事業	3,403	3,400	伊万里未来プランナー養成事業	285	200
資源ごみ回収促進事業	2,584	2,500	青少年育成市民会議支援事業	953	400
環境保全創造住民活動支援事業	1,700	1,700	公民館活動事業	2,805	2,800
伊万里牛振興会支援事業	1,991	1,900	子ども伊万里塾事業	600	600
鍋島藩窯伝統技術保存事業費補助金	750	700	図書館管理運営事業（移動図書館車購入）	14,000	14,000
市街地・商店街活性化イベント開催支援事業	1,290	1,000	図書館資料収集事業	18,000	3,000
まちなか活性化団体支援事業	8,000	8,000	家読推進事業	559	200
創業支援事業	2,200	2,000	競技スポーツ全国大会等出場支援事業	1,230	1,200
観光PR事業	3,009	3,000	スポーツ合宿誘致事業	2,621	2,600
伊万里ブランド販売促進事業	7,779	6,100	ハーフマラソン大会開催事業	2,500	2,500
観光振興団体支援事業	13,976	5,000	体育施設管理運営事業（スコアボード改修等）	646	600
国際アマチュア陶芸展開催支援事業	550	500			
どっちゃん祭り開催支援事業	2,000	2,000	合計	246,843	215,400

## 2015年度 行政視察受け入れの状況 (項目別)

議会からのお知らせ

項目	来訪議会 (人数、順不同)
定住自立圏構想	大分県日田市 (5)
ふるさと納税	山口県柳井市 (6)
地域公共交通・NPO栄町地域づくり会	熊本県和水町 (7)
伊万里港	京都府議会 (14)
観光プレミアム旅行券	愛知県刈谷市 (8)
伊万里焼の振興	新潟県十日町市 (3)
防災対策	新潟県五泉市 (8)、栃木県さくら市 (6)、鹿児島県日置市 (9)、京都府長岡京市 (3)、千葉県八千代市 (3)
婚活応援	神奈川県綾瀬市 (8)、香川県観音寺市 (4)、岐阜県多治見市 (6)、愛知県大府市 (6)、愛知県岡崎市 (3)、富山県氷見市 (6)、埼玉県深谷市 (7)
税滞納者の生活改善支援	千葉県旭市 (4)
学校教育 (ICT利活用)	茨城県ひたちなか市 (3)
黒川小学校図書館	埼玉県議会 (16)、大阪府柏原市 (4)
市民図書館	熊本県大津町 (8)、宮崎県都城市 (7)、長野県須坂市 (8)、東京都西東京市 (4)、栃木県茂木町 (13)、沖縄県那覇市 (8)、滋賀県大津市 (2)、兵庫県養父市 (4)、埼玉県ふじみ野市 (9)、大阪府枚方市 (4)、滋賀県近江八幡市 (4)、兵庫県神戸市会 (4)、東京都墨田区 (11)、青森県つがる市 (8)、岩手県一関市 (8)、宮崎県都城市 (3)、神奈川県小田原市 (10)、千葉県船橋市 (14)、岡山県岡山市 (11)、新潟県加茂市 (8)、京都府宮津市 (9)、山口県周南市 (6)、島根県議会 (5)、鹿児島県出水市 (7)、北海道恵庭市 (2)、青森県八戸市 (3)、愛知県小牧市 (3)、千葉県柏市 (5)、東京都東久留米市 (2)、宮城県登米市 (5)
議会改革	佐賀県基山町 (8)

## 編集後記



れからも積極的に議案質疑を行います。

3月の定例会が始まる5日前に、分厚い28年度予算書を貰いました。初めての予算審議、27年度の予算書・補正予算書、26年度決算書とで数百とある事業をひとつずつチェックしていくと事業費の増加減少に疑問が沸き、毎晩夜中2時頃までかかり、とりあえず特に疑問に思うことを整理し議案質疑で質問することにしました。

最初何回も手を挙げることに違和感を持ちましたが、ある先輩議員から「今日はえらい元気の良かじゃなかな！」と言う言葉を聞き気にならなくなり、議案質疑で直接的に事業費等が変わることがなくても将来的に少しは市政改革・財政改革につながることを信じ、こ

なお、今月号から一般質問の欄に質問者の顔写真を掲載することにしました。顔が見えることで、議員を身近に感じてもらえるのではないかと、議員個々の考え方が解りやすくなるのではないかと思えます。これからも市民の皆様が「伊万里市議会だより」に益々関心を持っていただけるよう編集委員一同頑張ります。

(力)

## 編集委員

◎山口 恭寿 ○井手 勲  
 岩崎 義弥 坂本 繁憲  
 力武 勝範 弘川 貴紀  
 顧問 多久島 繁 草野 讓

発行 伊万里市議会  
 伊万里市立花町二二五五-一  
 電話 0955-23-2604  
 0955-23-2607  
 0955-22-1277  
 E-mail:skalecity@mail.jp  
 印刷 市議会だより編集委員会  
 山口印刷株式会社